

〔D類養護教育コース 対象〕

## 小論文 解答例

令和5年度
一般選抜前期
私費外国人
帰国生

## 問1

お金のために働くと考えている人が、全体的にみると半分以上であるが、それは年齢によって変わること。特に70歳以上の人は、お金のためより、生きがいや社会貢献に働く意義を見いだしていることなどが、論理的にわかりやすく述べられていること。

## 問2

かつての第1次産業が産業構造の中心を占めていた頃に比べて、デスクワークが中心の産業構造になったため、身体活動量が減り、肥満が促進され生活習慣病の進行が進むことや、職場の人間関係や技術革新、長時間労働など社会変化による精神的負担やストレスなどが多くなることを論理的にわかりやすい文章で述べられていること。

## 問3

個人として、自分の心身の状態に気づき対処をするセルフケアを行うこと、健康診断などを定期的に受けることなど積極的な健康増進とワークライフバランスなどの自分の生活と労働との兼ね合いについても考えていくことなど。  
社会としては、個人での健康増進や個人のQOLの向上を支えるため、心とからだの健康づくり運動（THP）をあげ、健康測定や健康指導、メンタルヘルスや労働基準法に掲げられている労働時間・形態などの管理、働くことへの価値観の多様性や性別役割分担についての是正など。

以上のことが自分の考えも含めて論理的にわかりやすく述べられていること。